## アルバイト経験と給与明細

学校法人千葉武陽学園 西武台千葉高等学校 2年 鈴木 稔秋

今年の夏休み、短期のアルバイトをした。スーパーで働き、品出しが主な仕事だった。 年配のおばあさんに、商品がどこにあるか聞かれた。案内すると「やだ、高い!買うの、 やめるわ。」と不満気だった。ニュースで物価が上がっていることは知っていたが、実際、 目の当たりにすると深刻な事態だと実感した。

そして、初めて給与をもらった。そこには、働いた対価が数字となり、気持ちが高揚した。もっと稼ぎたいと思った。明細を見ると【勤怠・支給・控除・その他】の項目があった。ほとんどが 0 (ゼロ) で、金額だけを見て、満足だった。母から「人生初の給与はいくらだった?」と聞かれ、明細を見せた。「0 だったら、必要な所だけでいいのに。」と言うと、母が自分の給与明細を見せてくれた。項目ごとに勤務時間や基本給、手当や税金などが明確かつ詳細に記載されていた。控除項目の各種保険料や年金、所得税や住民税などが差し引かれており、その金額に度肝を抜かれた。

さらに驚いたのは、働くとついてくる税金があることだ。【所得税】である。「自分が稼いだお金に税金なんて、おかしい!」と、知識ゼロの私は憤慨した。一円たりとも無駄にしたくないという気持ちが沸き上がり、記載のあった控除項目を調べ尽くした。しかし、無駄なものはなかった。今回、私は所得税を払う対象ではなかった。社会科の授業で、国民の三大義務【納税・勤労・教育の義務】がいかに重要であるかを痛感した。

そして、不満気のおばあさんの顔と言葉が刺さっていた。今の日本が心配だ。深刻な物価高、異常気象、円安、ミサイル発射等、ネガティブな問題が絶えず、国民の不安、不平不満は最高潮だ。

現在、日本が、国民一人ひとりが分岐点に立たされている。右、左、まっすぐ…。迷子だ。だが、分からなければ、知識と実行力をつけるチャンスだと考える。最近は防衛増税に批判が大きかったが、国を守るためには必要不可欠である。異常気象で電気代が高騰する中、再び、補助金が出て、エアコンをつけられる時間が少しでも長くできる。その他、警察や消防、ごみの収集など、生活を安全・安心に暮らせるよう、日々、日常に活用されていることを改めて見てみよう。

次に、税金をただ国に支払っているだけの気持ちにならない。払っているから、利用してやろう。日本は恵まれている。生まれてから、行政のサービスを受けている。税金をフル活用している認識が薄いのだ。これから、私は選挙権を与えられ、社会に参加していく。今の日本を変えてくれる立候補者に投票し、明るく新しい未来を切り拓く必要がある。

【不平不満の反対語、知っていますか?】答えは【感謝】です。悪い部分ばかり見ないで、これから向かう明るい未来を想像し、感謝と私に与えられた義務を理解し、社会と向き合っていきたいと思いを改めることができた、私のアルバイト経験と給与明細だった。